



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 カンダホールディングス株式会社
コード番号 9059 URL <https://www.kanda-web.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原島 藤壽
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 浦野 聡昭 TEL 03-6327-1801
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	38,586	△1.5	2,715	27.3	2,797	27.9	1,809	38.8
2023年3月期第3四半期	39,184	10.5	2,133	△10.3	2,188	△9.5	1,303	△15.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,837百万円 (40.0%) 2023年3月期第3四半期 1,312百万円 (△9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	84.25	—
2023年3月期第3四半期	60.57	—

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	46,430	23,495	50.6
2023年3月期	42,306	22,033	52.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 23,487百万円 2023年3月期 22,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2024年3月期	—	9.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	8.50	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり第2四半期末配当金、2024年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

(注) 2024年第2四半期末配当金の内訳 普通配当8.5円 80周年記念配当1円

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	0.7	3,100	13.5	3,150	12.4	2,050	15.5	95.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細につきましては、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	23,308,720株	2023年3月期	23,308,720株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,883,098株	2023年3月期	1,783,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	21,480,532株	2023年3月期3Q	21,525,690株

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(連結の範囲の変更)	7
(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍明け後の経済活動の正常化が進み、個人消費の持ち直しの動きや円安によるインバウンド需要があったものの、食品や電気料金など生活必需品の値上げを含め物価高が続くなかにおいて全体として伸び悩んでおります。一方で、ウクライナ情勢の長期化、緊迫する中東情勢、中国経済の先行き懸念など、依然として先行きの不透明な状況で推移しております。

このような経済環境の中、物流業界におきましては、国内における貨物量は小幅ながら回復傾向にあるものの、国際貨物の荷動きは全体的に停滞し、電気代をはじめエネルギー価格の負担も懸念されます。また、2024年4月から適用される自動車運転業務における時間外労働時間の上限規制（2024年問題）に向けた対応も大きな課題となっており、引続き厳しい環境にあります。

当社グループにおきましては、国内部門では、前々期から前期にかけて獲得した新規営業や既存取引の業容拡大、M&A等の要因に加え、これまで行なった燃料価格や各種調達コストの上昇を踏まえた適正運賃の確保が進んだことから、前年同期比増収増益となる一方、国際部門では、全体的な荷動きの停滞に加え、前期までみられた需要逼迫による特需的な要因の解消が継続していることから、前年同期比減収減益となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は38,586百万円（前年同四半期比1.5%減）となり、営業利益は2,715百万円（前年同四半期比27.3%増）、経常利益は2,797百万円（前年同四半期比27.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,809百万円（前年同四半期比38.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、18,984百万円（前連結会計年度末は16,427百万円）となり、2,556百万円増加しました。現金及び預金の増加1,083百万円、受託現金の増加1,328百万円、受取手形、営業未収金及び契約資産の増加159百万円、リース投資資産の減少119百万円が主な要因です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、27,446百万円（前連結会計年度末は25,878百万円）となり、1,567百万円増加しました。建物及び構築物（純額）の増加1,580百万円、土地の増加1,904百万円、その他（純額）に含めて表示しております機械装置及び運搬具（純額）の減少186百万円、投資その他の資産に含めて表示しております差入保証金の減少1,507百万円が主な要因です。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、15,329百万円（前連結会計年度末は14,018百万円）となり、1,311百万円増加しました。預り金の増加1,452百万円、その他に含めて表示しております未払金の増加182百万円、未払法人税等の減少172百万円、賞与引当金の減少214百万円が主な要因です。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,605百万円（前連結会計年度末は6,255百万円）となり、1,350百万円増加しました。長期借入金の増加1,652百万円、リース債務の減少273百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、23,495百万円（前連結会計年度末は22,033百万円）となり、1,462百万円増加しました。利益剰余金の増加1,504百万円が主な要因です。

この結果、自己資本比率は1.5ポイント減少し、50.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結累計期間の業績予想につきましては、前回発表（2023年5月15日付）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な不確定要素や今後の業況等により、実際の業績とは異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,210	7,293
受託現金	3,238	4,566
受取手形、営業未収金及び契約資産	5,548	5,707
棚卸資産	127	153
前払費用	355	346
リース投資資産	505	385
その他	450	535
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	16,427	18,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,088	9,669
土地	10,307	12,212
その他（純額）	2,382	2,057
有形固定資産合計	20,777	23,938
無形固定資産	760	690
投資その他の資産	4,340	2,817
固定資産合計	25,878	27,446
資産合計	42,306	46,430
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,735	3,751
短期借入金	3,698	3,643
未払法人税等	516	344
預り金	3,329	4,781
賞与引当金	356	142
その他	2,381	2,666
流動負債合計	14,018	15,329
固定負債		
長期借入金	2,574	4,227
リース債務	579	305
役員退職慰労引当金	302	218
退職給付に係る負債	1,163	1,200
資産除去債務	43	44
その他	1,591	1,609
固定負債合計	6,255	7,605
負債合計	20,273	22,935

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772	1,772
資本剰余金	1,634	1,634
利益剰余金	18,471	19,976
自己株式	△330	△401
株主資本合計	21,548	22,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	552	596
為替換算調整勘定	△45	△63
退職給付に係る調整累計額	△28	△26
その他の包括利益累計額合計	477	505
非支配株主持分	7	7
純資産合計	22,033	23,495
負債純資産合計	42,306	46,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	39,184	38,586
営業原価	35,283	34,048
営業総利益	3,900	4,537
販売費及び一般管理費		
役員報酬	305	315
給料及び手当	528	505
賞与引当金繰入額	37	24
退職給付費用	25	25
役員退職慰労引当金繰入額	20	21
その他	849	929
販売費及び一般管理費合計	1,767	1,822
営業利益	2,133	2,715
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	42	39
為替差益	26	27
その他	57	76
営業外収益合計	127	144
営業外費用		
支払利息	38	39
保育園運営費用	30	20
その他	2	1
営業外費用合計	71	62
経常利益	2,188	2,797
特別利益		
固定資産売却益	13	12
特別利益合計	13	12
特別損失		
固定資産除売却損	0	7
為替換算調整勘定取崩損	—	11
子会社における送金詐欺損失	40	—
特別損失合計	41	19
税金等調整前四半期純利益	2,160	2,791
法人税等	856	980
四半期純利益	1,304	1,810
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,303	1,809

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,304	1,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	43
為替換算調整勘定	△44	△18
退職給付に係る調整額	3	2
その他の包括利益合計	8	27
四半期包括利益	1,312	1,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,328	1,835
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当社の連結子会社であったワカバ運輸株式会社は、2023年7月31日付で清算終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、当社の連結子会社であったPT.Pegasus Global Express Indonesiaは、2023年7月12日付で清算終了したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

これにより、当社の連結子会社の数は26社となっております。

(連結子会社の四半期決算日等に関する事項)

連結子会社のうち、Pegasus Global Express (Thailand) Co., Ltd. の第3四半期決算日は9月30日であります。当該四半期決算日の四半期財務諸表を用いて四半期連結財務諸表を作成しております。ただし、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。